



平成 31 年 1 月 31 日

沖縄電力株式会社

平成 30 年度 第 3 四半期決算について

1. 販売の状況

当第 3 四半期の販売電力量は、電灯については、お客さま数が増加したものの、猛暑だった前年に比べ夏場の気温が低めに推移したことなどによる需要減により、前年同期を下回りました。また、電力については、猛暑だった前年に比べ夏場の気温が低めに推移したことや、他事業者への契約切り替えによる需要減などにより、前年同期を下回りました。

この結果、電灯と電力の販売電力量合計は、前年同期に比べ 3.9%減の 59 億 13 百万 kWh となりました。

2. 収支の状況

当第 3 四半期の収支の状況について、収入面では、電気事業において、販売電力量の減少があったものの、燃料費調整制度の影響により、売上高（営業収益）は前年同期に比べ 60 億 28 百万円増（3.9%増）の 1,589 億 58 百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において、燃料費や他社購入電力料、修繕費が増加したことから、営業費用は前年同期に比べ 127 億 13 百万円増（9.2%増）の 1,515 億 82 百万円となりました。

この結果、営業利益は前年同期に比べ 66 億 84 百万円減（47.5%減）の 73 億 76 百万円となりました。

また、営業外損益を含めた経常利益は 67 億 42 百万円減（50.0%減）の 67 億 29 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は 52 億 29 百万円減（50.1%減）の 52 億 9 百万円となりました。

3. 連結業績予想

平成 30 年度通期の連結業績予想については、電気事業において、販売電力量の減少による電灯電力料の減少が見込まれることから、売上高は前回発表（平成 30 年 10 月 31 日）より 8 億円減（0.4%減）の 2,070 億円を見込んでおります。

営業利益については、電気事業において、燃料費や修繕費の増加が見込まれるものの、他社購入電力料の減少が見込まれることから、8 億円減（12.7%減）の 55 億円を見込んでおります。

経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、電気事業において、営業外収益の増加が見込まれることから、前回発表より変更しておりません。

別紙：決算の概要

以上

(別紙)

【決算の概要】

■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	平成 29 年度 第 3 四半期累計 (実績)	平成 30 年度 第 3 四半期累計 (実績)	増減	増減率
電 灯	2,438	2,323	△115	△4.7%
電 力	3,715	3,590	△125	△3.3%
合 計	6,153	5,913	△240	△3.9%

■連結経営成績 (4年ぶりの増収減益)

(単位：百万円)

	平成 29 年度 第 3 四半期累計 (実績)	平成 30 年度 第 3 四半期累計 (実績)	増減	増減率
売 上 高	152,929	158,958	+6,028	+3.9%
営 業 利 益	14,060	7,376	△6,684	△47.5%
経 常 利 益	13,472	6,729	△6,742	△50.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,439	5,209	△5,229	△50.1%

○連結業績予想 (平成 30 年度通期)

連結業績予想については、平成 30 年 10 月 31 日に公表した予想数値から修正しております。

■連結業績予想 (対 10 月公表値) (6年ぶりの増収減益の見込み)

(単位：百万円)

	平成 30 年度通期 前回発表予想数値 (10 月公表)	平成 30 年度通期 今回発表予想数値	増減 (対 10 月公表)	平成 29 年度 実績
売 上 高	207,800	207,000	△800	196,134
営 業 利 益	6,300	5,500	△800	9,333
経 常 利 益	5,200	5,200	—	8,381
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,800	3,800	—	6,273